

日本ビオトープ協会 2018

ビオトープ No. 42

特集「里山から学ぶ生態系インフラ Vo.1」



ホンドダヌキ
(兵庫県立兔和野高原野外教育センター)
写真 内海 千樫 氏 提供



特定非営利活動法人

日本ビオトープ協会

巻頭言

里山から学ぶ生態系インフラ

久郷 慎治 1

特別寄稿

グリーンインフラの時代へ

木田 幸男 2

シリーズ連載

ビオトープのいきものたち -その28- 豊かな海辺を代表する海浜植物

神垣 健司 6

会員・BA等投稿

長崎ペンギン水族館のビオトープ

後藤 恵之輔 8

私の活動報告 -里山に関わって-

山口 昌宏 10

イラクサに育つ蝶達 その2 コヒオドシ

内海 千樫 12

協会活動状況

各地区委員会(8地区)活動 計画・報告等
／協会活動 総会・フォーラム報告

各地区委員長／協会事務局 14

第10回ビオトープ顕彰 委員長講評・各賞紹介 17

連載コラム

「ビオトープを知る、五つのヒント」

その3 環境リテラシー:人ありて、インパクトあり

立川 周二 20

◇表紙・裏表紙写真の説明◇

本号の表紙写真は、裏表紙写真ともに、幌加内町の内海千樫氏
がご自宅のビオトープ、他で撮りためてきた生き物写真の中から
ご提供頂きました。

・表紙:ホンダダヌキ:兵庫県立兎和野高原野外教育センターに
何日も泊まり込んで観察したときに撮影したものです。

・裏表紙:エゾリュウキンカ:東北、北海道に分布し、水辺に咲き
「ヤチブキ」とも呼ばれおひたしなどにして食べられます。

◇内海千樫氏:北海道 幌加内ビオトープ研究会代表、日本ビオ
トープ協会会員。1978年より幌加内町在住。2017年6月に写真
集「蒼鷺」(共同文化社)が出版されました。動物写真家であり、
動植物・昆虫などの写真撮影を通じて、その生態観察は欠かせ
ず長年研究を続けてこられ、ビオトープに地道に取り組んでおら
れます。

